

事業所名

放課後デイサービス 桜の木

支援プログラム

作成日

2024年

12月

1日

法人(事業所)理念	桜の木では、お子様がストレスフリーな空間で楽しく遊べて日常生活を問題なく送れる為の訓練(生活習慣、買い物などお金の使い方、集団行動)を重点的に行いながら、御家族の皆様が安心して休養をとったり、就労することができる時間的・精神的余裕を持ち、お子様のゆっくりでありながらも確実な成長を共に感じられるような施設運営を目指します。		
支援方針	5領域を網羅した集団プログラムに加え、お子様ひとりひとりに寄り添った個別療育や余暇活動を通してお子様のペースに合った成長を促していきます ご家族の相談援助や関係機関との連携を実施し、包括的な支援を行えるよう努めていきます		
営業時間	平日 10時 15分 から 18時 15分 まで 長期休暇 10時 00分 から 18時 00分 まで 土曜・祝日 8時 30分 から 16時 15分 まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○健康管理：毎日の検温を実施します。連絡帳に利用日朝の健康状態を記載して頂き、事業所でも健康状態の様子観察を行います。 ○生活リズムの安定：決まった曜日や定時に通所し、事業所内でのスケジュール管理を行います。ご家族の協力を得ながら規則正しい生活を促します。 ○安全教育：SSTやABA、交通安全や防災訓練により、日常の安全意識を高めるとともに、活動時間を使って実践を行います。 ○ADL：生活動作や身だしなみ、食事マナー等、生活上のスキルを習慣化し、自立した生活が実現できるように支援します。 ○構造化を意識した部屋のレイアウト：学習や活動、飲食を行う場所を視覚的にわかるよう実物や絵など具体的に表示します。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○身体機能向上：柔軟性を高めるストレッチやチューブを使用した筋力トレーニングを活動内容に取り入れ、健康な体作りを支援します。 ○感覚統合療法：触覚を刺激する遊びや、バランスボール等を使った運動で、バランス感覚や姿勢の保持、空間認識を養います。 ○有酸素運動：施設内での体操や軽い運動、公園での遊びを通じて心肺機能の向上を図ります。 ○リズム遊び：音楽に合わせたダンスやリズム遊びで、リズム感と協調性を育み、楽しく体を動かします。 ○環境設定：集団で体を動かす際には広い空間を作り怪我がないようにしたり、感覚過敏用のイヤーマフを準備します。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○学習支援：個別学習や宿題のサポートで、基礎的な学習スキルを学びます。 ○日常生活：天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成や1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成を図ります。 ○認知スキルの向上：パズルや知育玩具、ブロック遊びによる空間把握や粘土やスライムなど物質の変化と感覚の認知形成を図ります。 ○行動療法：小集団の活動での適切な行動形成、ポジティブな行動支援や構造化環境で望ましい行動を促し、安心できる環境を作ります。 ○感覚・感性：季節の変化への興味などの感性形成のための製作や外出を行います。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○言語発達支援：言語課題やフラッシュカードなどを使用して語彙力の向上を目指し正しい言葉の使い方を学びます。 ○コミュニケーションスキルの向上：大人や異年齢の友達と関わりを持って過ごす事で日常会話のスキルと社会的な適応力を養います。 ○非言語コミュニケーション：ジェスチャーや表情、カード提示などの練習を通じて言語以外のコミュニケーション方法を学びます。 ○支援技術の活用：絵カードやタブレット、PECSで言葉が難しい子ども達のコミュニケーションを支援します。 ○学習支援：個別、または小集団での障害特性に応じた学習支援、読み書きを行います。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○ソーシャルスキルトレーニング：挨拶や自己紹介、ルールの理解が必要な遊びや集団活動を通じて、大人やお友達との関わり方を学びます。 ○協力活動：制作活動や集団での体操やゲーム遊びを通じて、友達とのやり取りを楽しみながらチームワークと協調性を育みます。 ○自己肯定感の育成：大人やお友達と成功体験を共有することで自信を持って行動出来たり、自己肯定感を高めていけるよう支援します。 ○役割遊びとロールプレイ：日常生活や社会的な場面を場面を再現するごっこ遊びや役割分担のある遊びを通じて、適切な行動や会話を学びます。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ○送迎時に家庭での様子を伺ったり、デイでの様子を伝え、療育活動での関わりに活かします。 ○定期的な面談(6ヶ月に1回)でお子様の成長や課題について保護者と話し合い、より良い支援方法を一緒に考えます。 ○研修会などを通じて最新の情報や支援方法などの情報提供を行います。 ○保護者が相談したいときにいつでも対応出来るよう体制を整えます。 ○支援の方法を提案し、家庭でも子どもを支援できるようサポートします。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○生活スキルの向上：生活動作全般の訓練や、買い物学習、PC学習など活動機会を設定し、自立した生活を送るための基本的なスキルを育てます。 ○自己理解と自己決定：自分の要求や強みを理解し、自分で決める力がついていくよう支援を行います。 ○学齢が上がり2号館への移行の際に安心して移行できるよう家庭や2号館と連携を図ります。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ○年に1度の夏祭りの際に地域の方にもご参加頂き、活動内容や障がいについての理解を広めます。 ○学校、他事業所、相談支援員など関係機関で情報共有や情報提供を行い、より良い支援が出来るよう連携を図ります。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な研修を実施し、最新の知識と実践的なスキルを学びます。 ○研修やミーティングを通じて職員の専門性を高めます。 ○働きやすい環境の整備に努め、職員のストレス軽減を図ります。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全指導(尼崎市警察交通安全課による) ○保護者会の開催 ○季節の収穫体験(芋掘り、みかん狩り) ○季節行事：夏祭り、お誕生日会、ハロウィン、クリスマスなど 		